

す 先般(五月上旬)の結核値上の待遇改善の要求が、いしれ事情に困るもの
は申すまでもありませぬ。この歎願が如何に妥當なるものであつたかは、當時
の一般社会、大論は勿論、病院小終に從業員の要求を認むべきを得なかつた事
實によつて明瞭でありませぬ。私共は何等不當なる要求をしてゐるものであつた
りませぬ。殊に共済会と病院との交渉は、常に常と監視庁及本富士署の力加立会
の上で合理、合法的な方法によつて何等の困難に行つて来たものであつた。い
ふまでも、団体の威力を以て理屈抜きに無理押しをしたやうなことは一度も
なして、ましていかなる不遜な行動をとるわけでもありません。今日まで私共の行
動は常に正しく公正であり、堂々とし、俯仰天地にはががするものであつたこと
を信じて、今日勤勞階級が生活保護の権利を合法的に団体を組織して、これに
府またを確認して居り、殊に最近の物価高による全團の負債上、傾向に對しては
合法的なものは、又加指導の努力を以て先般の林内閣に於ける全團警部局長
会議の席上にも内務大臣自から指示されてゐる事実は、よつても私共の共済会が如
何に正當なものであつたかは、贅言を要しません。斯う共済会を今病院当局が無理
に力づくで潰滅せんとして、先づ幹部剪除の最善に出たことは、時行絶望も甚だ
しいものであつた。我々は之に對して、半固軟く可からざる意志を以て、あくまで我
々の正當なる生活保護を所衛するものと、病院の不當なる強圧を拒して、徹底的に平
らに扱ふ決心をしております。私共は一點のやましいところもありません。しか
私共は自ら社会正義に立脚してゐることを確信して居ります。何事貴下御
諒承し、御復接によつて一日も早く私共の要求が認められ、再々明開吉日が速か
く、早んことを衷心よりお祈りして居ります。 經大吉より御復接を仰せしつゝ、今般
の事情に御報告せられた次第であります。
昭和十二年六月四日 全日本前竹總同盟
関東一般使用人組合 事務部委員長會

順天堂醫院關係者
諸賢の嚴正なる御批判に謝す

近來当病院内の五拾号に三拾八号室とに棍棒を持つた壯士風の男が、拾號名、時
には二拾名乃至三拾名を加蓋夜の境もなく出入し、酒を飲んだり高談狼藉、病院
の内外を横行し、御入院の諸君及一般職員從業員に多大の迷惑を掛けた居りま
す。其の上、園外普通通りを女性等が出入する時に見受け、最近に至つては、御入
院諸君の冷蔵庫より諸君の食料品が失はれることとなり、最近に至つては、御入
院諸君の廊下に出して、冷蔵庫の蓋まで破り、食物を奪つたこと、言ふまでもなく、
果は曾て無かつたこととなり、御入院の不安と不眠は、一言で言ひませぬ。
△院内は暴力團の屯所也
一 体斯様な物々しき人物が、斯くも多数、而して重症の患者を、位も動かさず、最
前を旨として、病棟を蟻舘して患者若徒の病勢を悪化せしめて居るものでありませ
ぬ。順天堂醫院は旅館ではないと思はれます。況んや暴力團の屯所であるか、若
くは、然るに軍兵は皆御覧の通りであつて、警察官の前には棍棒を新開紙
に包んで居るもので、然らざる場合、平然と我々の肩下園を叩いて、廊下
を干と、言はす、庭園のまはりに、病院内外、下り、開歩して居ります。順天堂
醫院は如何なる考へを以て、暴力団を誘き入れ、夜毎に、面を變じて、之を養つて居
るものであつたか、以下大略を記して、諸君の御参考を候はせたいと思ひます。
△從業員はどんな生活をしてゐるか
醫院当局の一般從業員に對して、待遇は甚だ劣悪なものでありました。看護婦の
寄宿金は九圓、冠の部屋に、拾號人の看護婦が、魚飯、下居ました。食事は殆んど
人間の食料と、思はれぬ程のものが、一度位、區區の、別食物が、せりまうと、其の